



デュオ 上げ下げ窓(DH)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用した場合、製品重量が最大30kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリーナー釘・木ねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- ランサー部品箱は別売りです。

部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑧は、部品・ねじの種類を示します。

| | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------|------------------|
| ① スクリーナー釘 φ2.1×32 | ② 皿木ねじ φ3.1×20 | ③ アームスライダー | ④ 障子ストッパー |
| ⑤ トラス小ねじ M4×6 | ⑥ バインド小ねじ先付 M4×10 | ⑦ 外障子上部 振止め | ⑧ 気密ピース |

ランサー部品箱(別売り)

| |
|-----------------------|
| ランサー取付け用 |
| ⑨ バインド小ねじM4×10 |
| ⑩ ランサー |

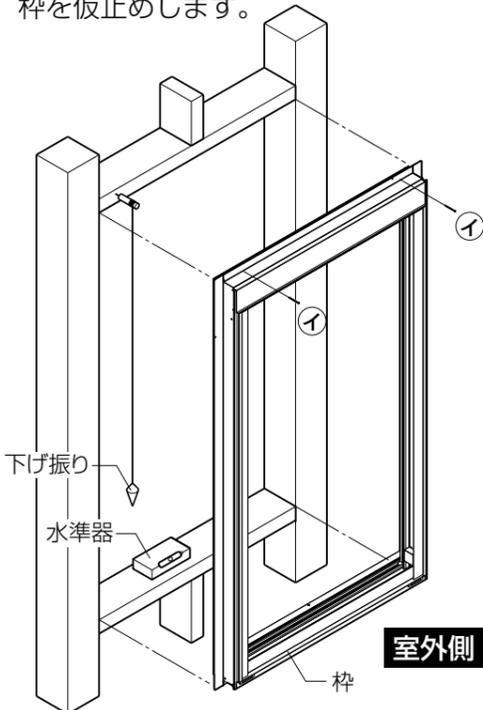
取付け順序

- 1 枠の仮止め
- 2 枠の調整と固定
- 3 ランサーの取付け
- 4 外障子の建込み
- 5 内障子の建込み
- 6 ランサーの調整
- 7 上枠カバー材の取付け

取付け詳細

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

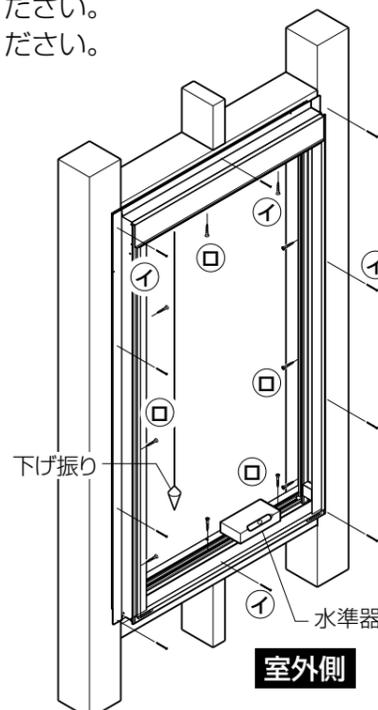
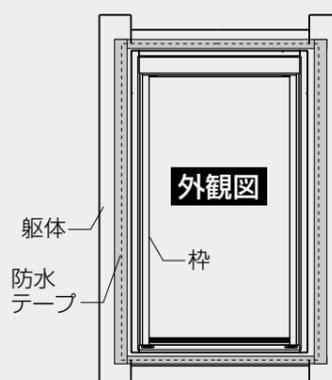


2 枠の調整と固定

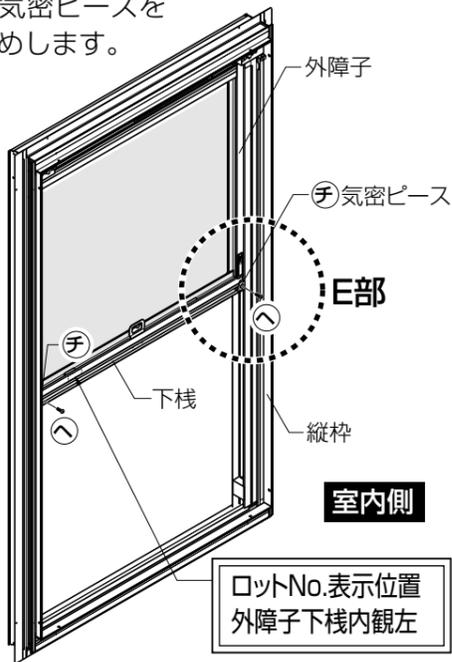
- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
※固定後、必ずランサーの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
開閉不良の原因になることがあります。

▲注意

- 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

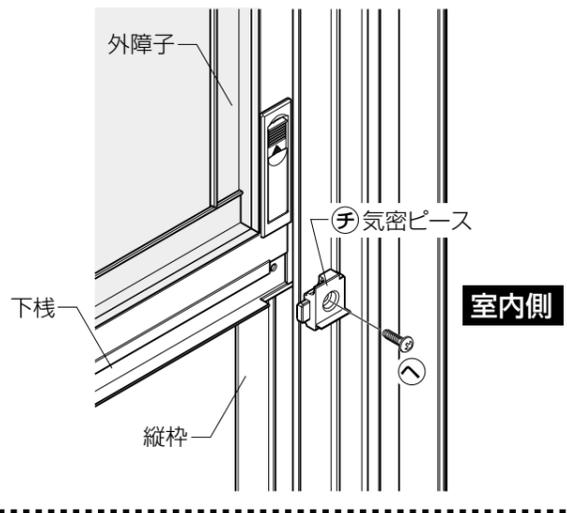


⑤下棧に気密ピースを
ねじ止めします。

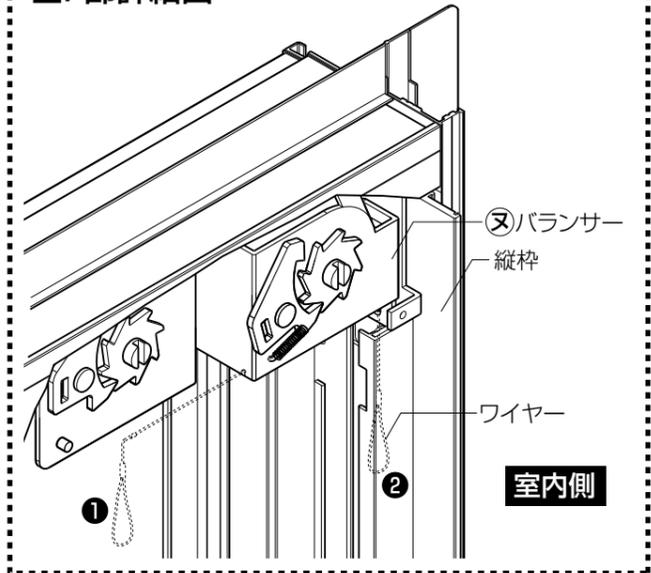


■E部詳細図

※左右の気密ピースが縦枠に均等に当たる
ように外障子の位置を調整してください。

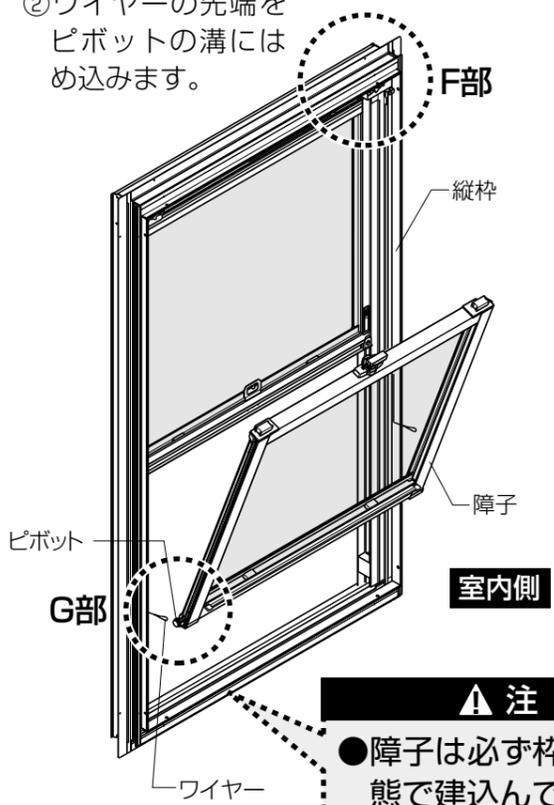


■F部詳細図

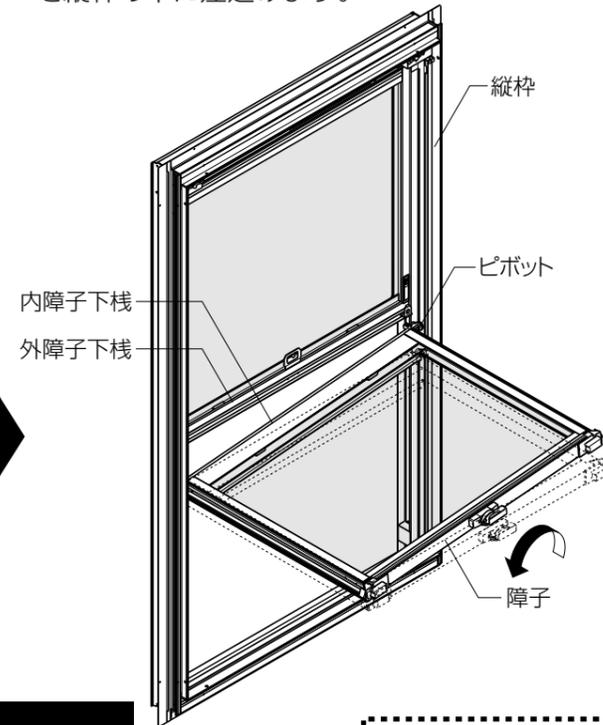


■5 内障子の建込み

- ①バランサーに引っ掛かっているワイヤーを
外し、縦枠内に垂らします。
- ②ワイヤーの先端を
ピボットの溝には
め込みます。

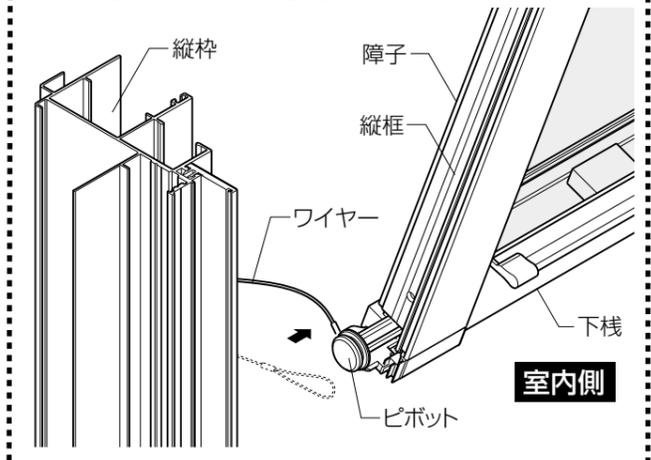


- ③内障子の下棧を外障子下棧より下に引
き下ろし、障子を斜めにしてピボット
を縦枠の中に差込みます。



■G部詳細図

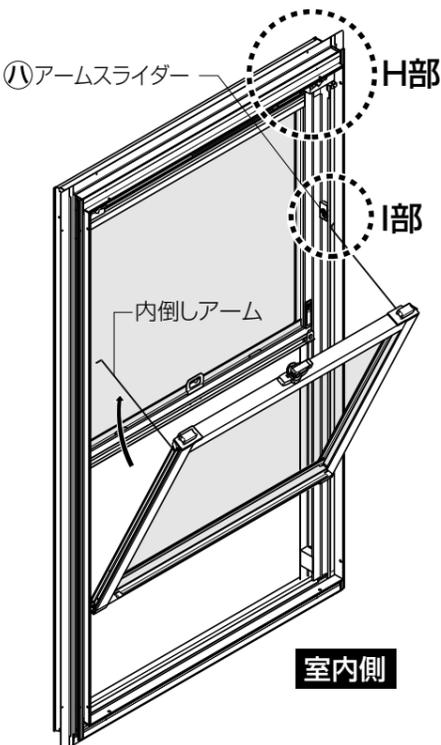
※ワイヤーは必ずピボットの溝にはめ込んで
ください。ワイヤーが外れるとバランサー
が破損するおそれがあります。



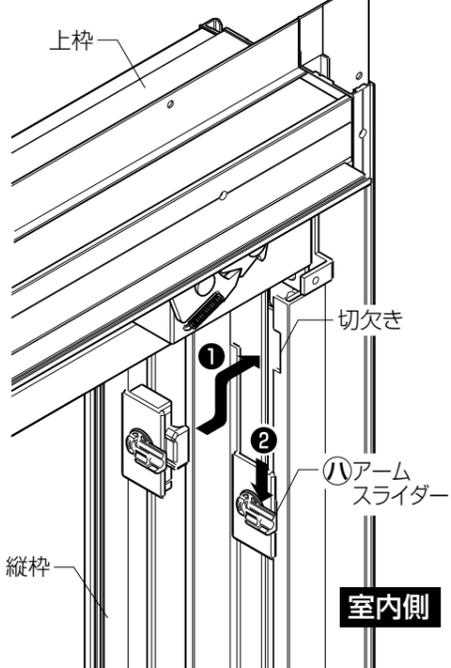
▲注意

●障子は必ず枠を立てた状
態で建込んでください。

- ④アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていませんので、
アームスライダーは使用しません。
- ⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。

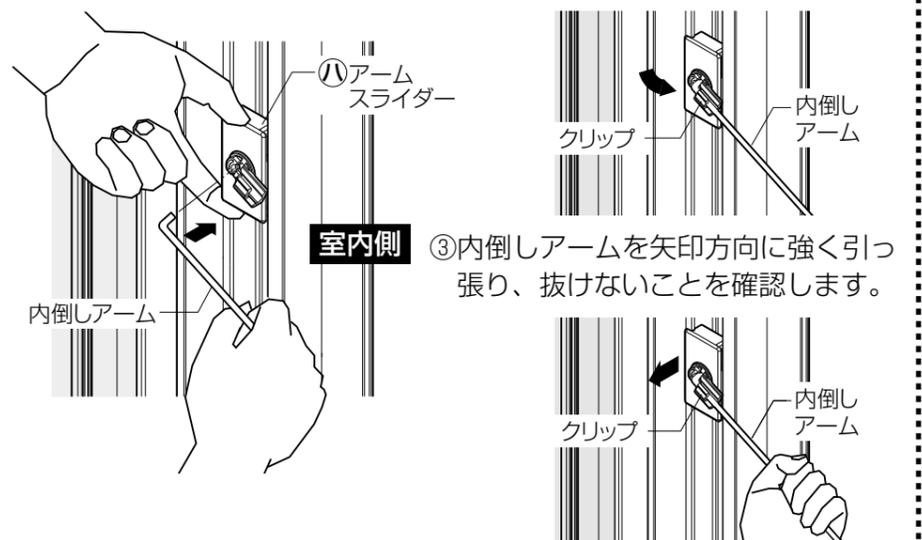


■H部詳細図

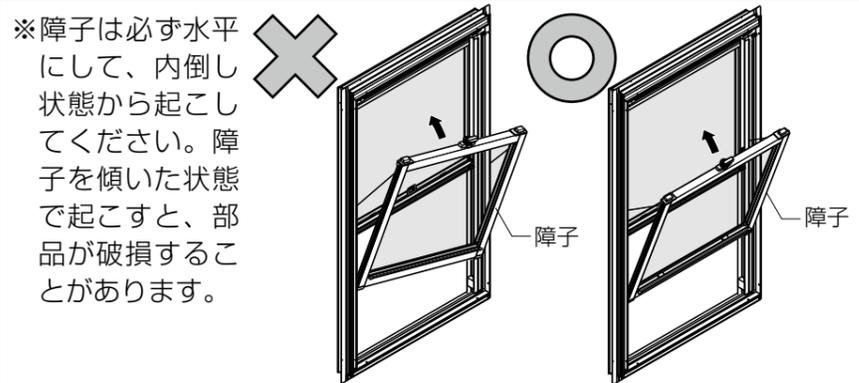


■I部詳細図

- ①アームスライダーに内倒し
アームを差込みます。
- ②クリップを反時計回りに回し、内倒し
アームにはめ込みます。

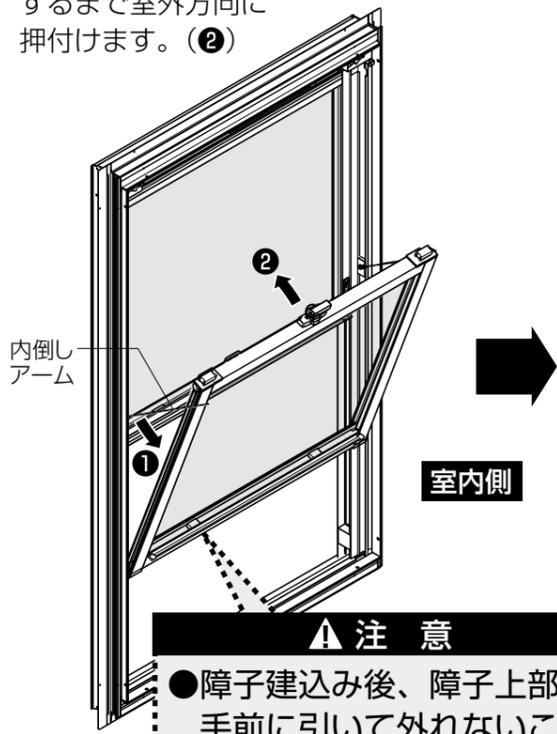


- ③内倒しアームを矢印方向に強く引っ
張り、抜けないことを確認します。



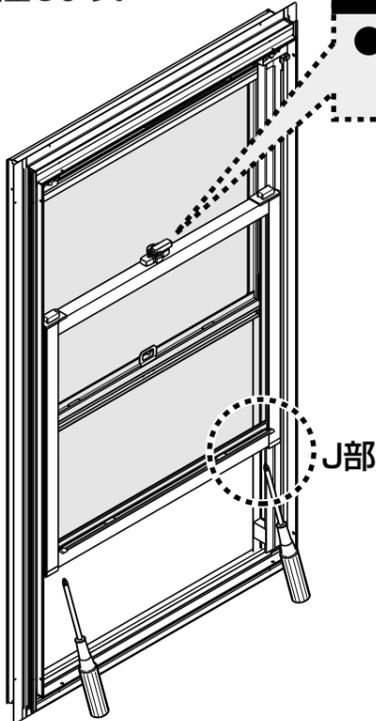
※障子は必ず水平
にして、内倒し
状態から起こし
てください。障
子を傾いた状態
で起こすと、部
品が破損するこ
とがあります。

⑥内倒しアームを押し下げながら (1) 障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押付けます。(2)



▲注意
●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

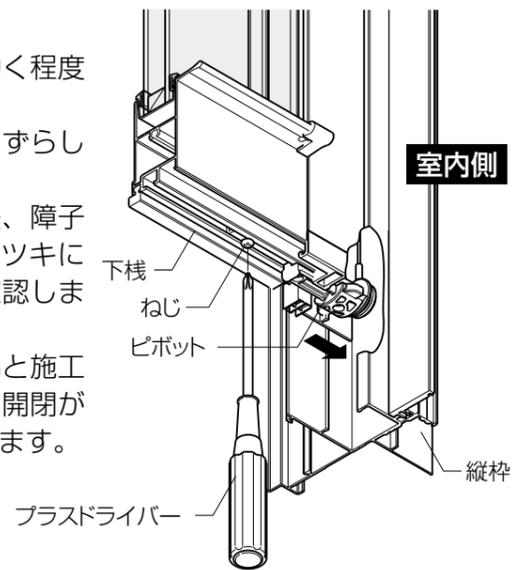
⑦ピボットのねじ位置を調整します。



▲注意
●障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。

■J部詳細図

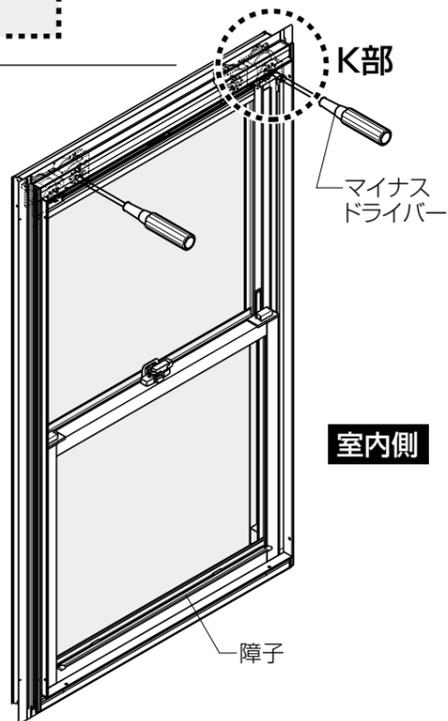
- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
 - ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
 - ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。



6 バランサーの調整

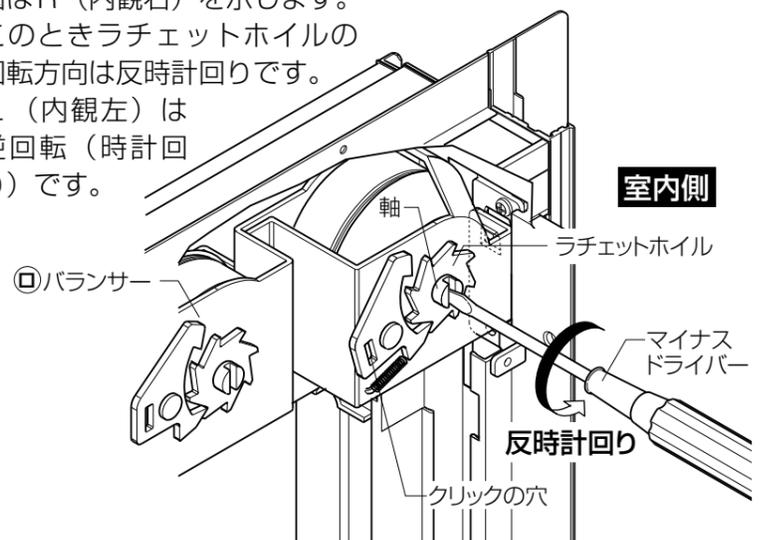
※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。

- ①障子を一番下に下げます。
 - ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



■K部詳細図

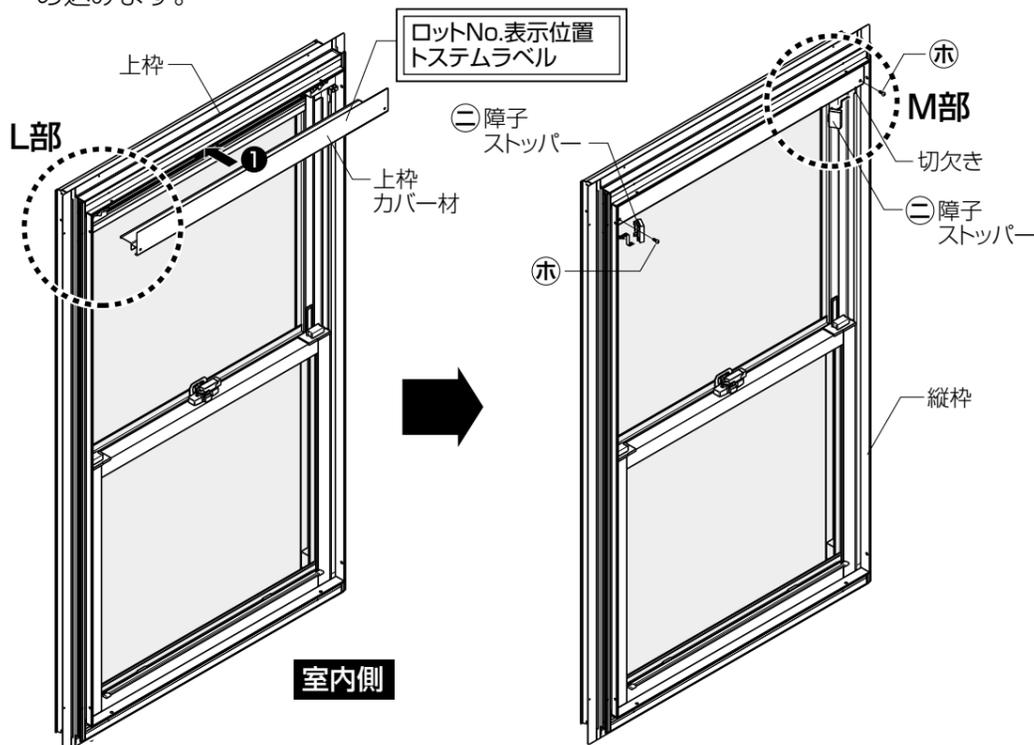
- ※図はR (内観右) を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※L (内観左) は逆回転 (時計回り) です。



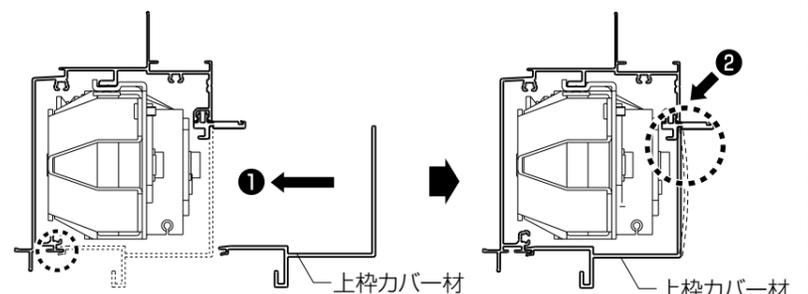
7 上枠カバー材の取付け

- ①上枠カバー材の溝を上枠にはめ込みます。(1)
- ※左右のアングルを傷付けないようにしてください。
- ②矢印部を押し、上枠カバー材をたわませながら (2) 上枠の溝にはめ込みます。

- ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
 - ④障子ストッパーを縦枠の切欠きに室内側よりひっかけ、「パチン」と音がするまで押付けます。
- ※障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆の手順で外してください。



■L部詳細図



※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、上記同様に上枠カバー材をたわませて外してください。

■M部詳細図

